

乾電池取り扱い上の注意事項

乾電池の使用方法を誤ると、乾電池の液漏れ・発熱・破裂等をひき起こし、機器を損傷したり、場合によっては失明、やけど、けが等のおそれがあります。乾電池取り扱い上の注意事項を守って安全にご使用くださるようお願い致します。

1 充電

アルカリ乾電池やマンガン乾電池は充電用として作られていないので、充電すると、液漏れ、破損のおそれがあります。充電によって電池内部にガスが異常発生し、電池内圧が高まり、液漏れ、破損のおそれがあります。また、充電電流が過大であると、ガス発生が大きくなり、電池が破裂するおそれがあります。特に未使用電池を充電した場合には、液漏れ、破損、破裂などの発生率が高くなるので注意が必要です。

2 装填(+ - を正しく入れること)

電池の+ - を逆に装填しないで下さい。

電池の+ - を逆接続(逆装填)すると、充電されたり、機器によっては電池がショート(+ - の短絡)状態になり、発熱、液漏れ、破裂することがあります。

3個以上の電池を使用する機器において、そのうち1個を逆装填しても、機器は作動することがあります。しかし、その場合逆装填された電池、または隣接した電池は他の電池によって充電されることがあり、1充電と同様に液漏れ、破損などのおそれがあります。また、機器によっては電池がショート状態となり発熱、液漏れ、破裂することがあります。発熱によるやけど、アルカリ乾電池での液漏れによる化学やけどにご注意ください。

3 混用

他の種類の電池や使用済み電池と未使用電池を混ぜて使わないでください。混用により液漏れ、破裂のおそれがあります。

電圧や形式の異なる電池を混ぜて使うと、機器が正常に作動しないばかりでなく、それぞれの放電性能が違うので、早く消耗した電池が過度の使用状態(過放電)となり液漏れ、破裂の原因ともなります。

また、未使用電池と使用済み、又は使いかけの電池を混ぜて使うと、それらの電池が過度の使用状態となり、不経済なばかりでなく、液漏れ、破裂の原因ともなります。

4 過放電(スイッチ切り忘れ等)

電池を過放電しないでください。過放電により液漏れ、破裂のおそれがあります。機器が正常に作動しない状態になってからも、電気回路が繋がったまま(スイッチの切り忘れ等)で放置されると電池の消耗が継続され、過度の放電状態(過放電)となり内部でガスが発生し、液漏れ、破裂するおそれがあります。2個以上の電池を継続して使用する場合、過放電すると電池電圧が0V以下(転極)になることがあり、さらに液漏れ、破裂が起こり易くなります。

5 ショート

電池の+ - をショートさせないでください。ショートの発熱により液漏れ、破裂のおそれがあります。また、やけどの危険があります。

電池の+ - が相互に接触したり電線や他の金属類でショートすると、一時に過大な電流が流れ、発熱のため電池構造が破壊されて、液漏れや破裂をおこすおそれがあります。ショート事故防止のため、コイン、ネックレス、ガムの包装紙などで電池を包まないでください。発熱によるやけど、アルカリ乾電池での液漏れによる化学やけどにご注意ください。

6 加熱、火中投入

電池を加熱、火中投入しないでください。過度の加熱や、火中投入により、液漏れ、破裂のおそれがあります。電池を直接ストーブなどの上で加熱すると温度上昇によって使用している樹脂部品が溶けて変型し、液漏れ、内部ショートなどの異常を生じることがあります。また、過度に温度が上がった場合、及び火中投入した場合には、電池の内圧が高まり、破裂するおそれがあります。

7 はんだ付け

電池端子に直接はんだ付けすることは、避けてください。

特に小形電池の端子に直接はんだ付けすることは、電池を加熱することになり、温度上昇によって使用している樹脂部分の熔融変型を生じ、液漏れ、内部ショートなどの異常を生じるおそれがあります。また、過度に温度が上がった場合には破裂するおそれがあります。

8 分解

電池を分解しないでください。

無理に電池を分解しようとすると、手指を傷つけたり、電池内部の電解液が飛び散って衣服を損傷したり、皮膚のただれや化学やけどを起こすばかりでなく、目には入った場合には、失明するおそれがあります。

9 加圧変型、落下変型

電池を加圧変型しないでください。また、硬い床面等に落下させないでください。電池を加圧変型させたり、落下により変型させると、電池封口部のゆがみによって液漏れ、内部ショートなどの異常を生じることがあります。

10 アルカリ乾電池から漏れ出た電解液の対応処置

電池内部から漏れ出した電解液には直接ふれないように注意してください。

アルカリ乾電池には強アルカリ液が使用されており、目に入った場合には、失明するおそれがあります。また、液が付着すると衣服の損傷、皮膚のただれや化学やけどを起こすおそれがあります。

- (1) アルカリ液が目に入った場合には、すぐに水で洗い流し医師の治療を受けてください。
- (2) 皮膚や衣服に付着した場合には、水で洗い流し皮膚炎のおそれがある場合は医師に相談してください。
- (3) アルカリ液をなめた場合には、直ちにうがいをし医師に相談してください。

11 マンガン乾電池から漏れ出た電解液の対応処置

電池内部から漏れ出した電解液には直接触れないように注意してください。

- (1) 電解液が目に入った場合には、速やかに水で洗い流し医師に相談してください。
- (2) 皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水で洗い流してください。
- (3) 電解液をなめた場合には、直ちにうがいをしてください。

12 機器を正常に作動させるための注意事項

- (1) 機器又はその取り扱い説明書に指定された電池を使用してください。
- (2) 電池を機器に入れる前に乾布などで機器や電池の端子部などをきれいにふいてください。
- (3) スイッチの切り忘れをしないでください。
- (4) 使い切った電池は機器から速やかに取り出してください。
- (5) 電池の交換を幼児にさせないでください。
- (6) 機器を長時間使用しない場合は電池を機器から取り出してください。

13 誤飲の注意事項

小形の電池(単4形、単5形、ボタン形など)は、幼児が口に入れやすく、ときには飲み込んでしまう事故が起こるおそれがあるため、電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。

14 乾電池廃棄時の注意事項

一般廃棄物(ゴミ)の収集方法は各自治体によって異なります。家庭から廃棄される使用済み乾電池も、原則的には一般廃棄物として収集されます。しかし、自治体によっては乾電池の分別収集を行っているところもありますので、廃棄する場合には各自治体の定める収集方法に従うようにしてください。

なお、9V角形乾電池をそのまま廃棄すると、+・-端子部に他の金属物が接続してショート、発熱することがあります。廃棄時には+・-端子部にセロファンテープなどを貼りつけて絶縁してください。

15 代替え電池使用時の充電防止

代替え電池を使用する場合は機器の取り扱い説明書に従って、電池の取り外しが必要な場合は必ず電池を取り外してください。

16 オキシライド電池の使用

オキシライド乾電池は、正極活物質にオキシ水酸化ニッケル(NiOOH)を採用することで、アルカリ乾電池よりも高い電圧と高出力な特性を実現したニッケル系一次電池です。しかし、他の乾電池に比べ、初期電圧(1.7V)が高いため、アルカリ乾電池、マンガン乾電池の特性に合わせて設計されている機器では適切に動作しない場合があります。(社)日本玩具協会では玩具に対して、オキシライド電池を使用する事を禁止しておりますので、絶対に使用しないで下さい。